



1. 貧困をなくそう
8. 働きがいも経済成長も



工房の女性たちと坂本さん(前列右から3番目)。ともにものづくりに励んでいる。

アフリカのエネルギーを、ビーズに乗せて

「早く私にも見せて!」。工房中で回覧したのは日本の女性たちがアクセサリーを身に着けた写真だ。それは工房で働く女性たちの大きな喜びとなった。私は赤道直下ケニアの土を原料とした陶器アクセサリーをケニアのシングルマザーたちと製作している。アフリカらしさを生かした魅力ある製品を日本に届け、手にした人の満足とその先にある生産者の継続雇用を目的とした事業だ。活動のきっかけは、国際協力の仕事をしたかったケニアで感じた自分の無力さだった。助けられているのは私ではないだろうか。物質的に貧しいながらも日々エネルギーを生きているケニアの人々の姿が心に響いた。私が今できることは何か。模索するなかで、縁あって雇用創出を目的とした工房に出合った。手仕事から生み出されるアクセサリーには彼女たちの大らかさ、エネルギーが詰まっていた魅了された。日本市場で販売するには品質など細かい部分を整える必要があった。継続雇用が可能となるための適切な利益を確保できるデザイン・品質、そして製品価値を正しく伝えるブランディングが必要と考え製作に努めている。その大きな原動力は、明るい未来を信じる職人たちとの信頼関係。そして製品を手にした人々からもう喜ぶの声だ。一歩ずつだが必ず努力が実ると信じて、みんなで協力し活動している。

今月の投稿(文と写真)坂本厚子さん
2003年に単身ケニアに留学し、スワヒリ語を学ぶ。のち国際協力機関の仕事に従事。3年間のケニア生活を経て13年にオンラインショップ「Choroi(チロイ)」を立ち上げアクセサリーを通していそがしい日本の女性には元気を届け、現地の女性には雇用サポートを行うことで、双方の女性をハッピーにすることに挑戦中。

あなたの投稿をお待ちしています!

「わたくしが見つけたSDGs」に写真と文章をお寄せください。貧困や気候変動、格差ほか、いま世界が直面している課題やその解決に向けた取り組みのエピソードなど、SDGsの17の目標を身近に感じられる作品をお寄せください。

応募要項: 写真1点(ご自身が撮影されたもの)、文字原稿400字以内。

*写真内の被写体に関する肖像権およびその他の権利は、投稿者の責任において被写体や権利保持者の承諾を得るなど必要な措置をとったうえでご応募ください。

ご応募・お問い合わせ先 ▶ ML_JICAPR@jica.go.jp (『mundi』編集部宛て)



SDGsとは

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は「誰一人取り残さない」をスローガンに、格差や貧困、環境破壊など世界が直面している問題の根本的な解決を目指す17分野の国際目標。

持続可能な開発目標(SDGs)と
JICAの取り組み

